

司法試験における頻出分野論点の一覧

憲 法

(分野)

1 位 表現の自由 9 回

プレ、H19 (消極)、H20、H23、H25 (デモ)、H27、H30、R1、R3 (デモ)

2 位 職業の自由 4 回 (H18、H26、H30、R2)

3 位 平等権 3 回 (H22、H25、H27)

3 位 学問の自由 3 回 (H21、H25、R4)

5 位 知る自由 2 回 (H20、H30)

結社の自由 2 回 (プレ、R3)

適正手続を受ける権利 2 回 (プレ、R1)

移動の自由 2 回 (H28、R2)

(判例・論点)

・薬事法事件 4 回 (H18、H26、H30、R2)

・徳島県公安条例事件 (明確性の原則) 4 回 (H20、H21 [学問の自由]、H30 [知る自由]、R1)

・東大ポポロ事件 (大学における学問の自由と大学の自治の対立) 2 回 (H21、H25、R4)

・岐阜県青少年保護育成条例事件 2 回 (H20、H30)

・よど号ハイジャック記事抹消事件 (知る自由の保障) 2 回 (H20、H30)

・泉佐野市民会館事件 (明らかな差し迫った危険の基準) 2 回 (H25、R3)

・吉祥寺駅構内ビラ配布事件の伊藤補足意見 (パブリック・フォーラムの理論) 2 回 (H25、R3)

・デモ行進の自由の保障 2 回 (H25、R3)

・東京都公安条例事件 (集団暴徒化論) 2 回 (H25、R3)

・一時的な移動の自由の保障 2 回 (H28、R2)

・成田新法事件 (適正手続を受ける権利 2 回 (プレ、R1)

・第三者所有物没収事件 (特定の第三者の憲法上の権利の援用) 2 回 (H20、H21)

行政法

(分野)

- 1 位 行政裁量 11回 (H22、H23、H24、H26、H27、H28、H29、H30、R1、R3、R4)
- 2 位 処分性 8回 (プレ、H19、H20、H24、H25、H29、R2、R3)
- 3 位 原告適格 7回 (H21、H23、H26、H28、H29、H30、R4)
- 4 位 差止訴訟 4回 (プレ、H20、H23、H27)
- 4 位 公法上の確認訴訟 4回 (プレ、H18、H20、H23)
- 6 位 訴えの利益 3回 (H21、R3、R4)
- 7 位 執行停止 2回 (H20、H21)
- 7 位 無効確認訴訟 2回 (H18、R1)
- 7 位 直接型義務付け訴訟 2回 (H26、H29)
- 7 位 損失補償 2回 (H24、H27)

(論点)

- ・裁量基準が絡まない判断過程審査 6回 (H22、H24、H29、H30、R1、R3)
- ・裁量基準から逸脱した裁量権行使 5回 (H24、H28、H29、R3、R4)
- ・後続行為との連動性に着目した処分性判断 4回 (H19、H20、H24、H25)
- ・裁量基準に従った裁量権行使 4回 (H23、H24※、H26、H27)
- ・条例制定行為の処分性 2回 (プレ、H25)
- ・処分性判断における申請権アプローチ 2回 (R2、R3)
- ・違法性の承継 2回 (H28、R1)
- ・行訴法 10 条 1 項による取消事由の主張制限 2回 (H21、H30)
- ・無効確認訴訟の補充性 2回 (H18、R1)
- ・損失補償における特別の犠牲 2回 (H24、H27)

※平成 24 年司法試験設問 2 では、「裁量基準が絡まない判断過程審査」と「裁量基準に従った裁量権行使」の双方が出題されている。

民法

(分野)

- 1 位 不当利得 7 回 (H18、H20、H21、H23、H26、H27、H28)
- 1 位 債務不履行に基づく損害賠償請求 7 回 (H19、H24、H25、H26、H28 (サブ)、R1、R2)
- 3 位 不法行為に基づく損害賠償請求 5 回
プレ (709,715)、H22 (709)、H23 (709,717)、H27 (709)、R1 (717)
- 4 位 債務不履行解除 4 回 (H19、H23、H24、R2)
- 4 位 保証 4 回 (H18、H25、H28、R3)
- 6 位 表見代理 3 回 (プレ、H22、R2)
- 6 位 即時取得 3 回 (H21、H27、R3)
- 6 位 所有権留保 3 回 (H21、H27、H30)

(論点)

- ・履行補助者 3 回 (H19、H25、H30)
- ・賃貸人の地位の移転 3 回 (H20、R1、R4)
- ・94 条 2 項類推適用 2 回 (H28、R4)
- ・所有権留保と即時取得 2 回 (H21、H27)
- ・代理権濫用 2 回 (プレ、H28)
- ・相当因果関係 (416 条 1 項 2 項) 2 回 (H19、H24)
- ・将来債権譲渡契約の有効性 2 回 (H18、R1)
- ・無断転貸と信頼関係破壊の法理 2 回 (H20、H29)
- ・使用利益の返還 2 回 (H21、R3)

商 法

(分野)

- 1 位 取締役の対会社責任 1 1 回
H18、H19、H22、H23、H24、H26、H27、H28、H30、R1、R4
- 2 位 株主総会決議の取消しの訴え 9 回
H18、H21、H23、H24、H25、H29、H30、R2、R3
- 3 位 募集株式等の無効の訴え 6 回
H19、H22、H23、H25、H27、R2
- 4 位 利益相反取引 4 回
H18 (直)、H20 (直&間)、H24 (直)、R3 (間)
- 5 位 取締役の対第三者責任 3 回 (プレ、H20、H22)
株主代表訴訟 3 回 (H24、H26、H30)

(論点)

- ・特別利害関係株主 7 回 (H18、H21、H23、H25、H29、H30、R2)
- ・取締役の監視義務違反 5 回 (プレ、H20、H22、H26、H28)
- ・取締役会決議を経ない多額の借財 3 回 (H20、H26、R3)
- ・他の株主に係る取消事由の主張の可否 3 回 (H24、H29、R3)
- ・経営判断の原則 3 回 (H19 [423①]、H28 [339②]、R4 [423①])
- ・有利発行 (処分) 3 回 (H19、H23、R2)
- ・主要目的ルール 3 回 (H19、H25、R1 [差別的行使条件付き新株予約権])
- ・瑕疵ある取締役会決議の効力 2 回 (H19、H28)
- ・否決の決議の取消しの訴えの適法性 2 回 (H24、H30)
- ・決議取消しの訴えにおける原告適格 (831 条 1 項柱書但書) 2 回 (H24、H29)
- ・議決権行使の代理人資格を株主に限定する定款規定 2 回 (H29、R3)
- ・議長の議事整理権限の濫用 2 回 (H21、H30)
- ・取締役の説明義務違反 (314 条) 2 回 (H23、R3)
- ・取締役解任に伴う損害賠償請求 2 回 (H28、R4 [類推])
- ・内部統制システムの決定・構築・運用 2 回 (プレ、H28)
- ・取締役会の承認を経ない利益相反取引の効力 2 回 (H20、R3)
- ・株主総会特別決議を経ない有利発行 (処分) の効力 2 回 (H19、H23)
- ・非公開会社における株主総会特別決議を経ない募集株式等の発行の効力 2 回 (H27 [行使条件違反の新株予約権行使による新株発行]、R2 [決議に取消事由あり])
- ・不公正発行と募集株式の発行等の効力 2 回 (H19、H25)
- ・事業譲渡の要件 2 回 (H18、H27)

民事訴訟法

(分野)

- 1 位 既判力 9 回 (H19、H21、H22、H25、H26、H27、H28、H29、H30)
- 2 位 共同訴訟 7 回 (H18、H20、H23、H24、H28、H30、R2)
- 3 位 裁判上の自白 6 回 (H19、H21、H23、H29、R1、R4)
- 4 位 弁論主義 4 回 (H21、H24、H25、H29)
- 4 位 処分権主義 4 回 (H22、H27、H29、R3)
- 4 位 補助参加 4 回 (プレ、H24、H28、H30)
- 7 位 確認の利益 3 回 (H25、H28、R2)
- 7 位 文書提出命令 3 回 (H20、H30、R1)

(論点)

- ・信義則による後訴における審理判断の制限 4 回 (H25、H26、H28、H29)
- ・訴えの主観的追加的併合 4 回 (H20、H28、H30、R4)
- ・質的一部認容判決の限界 3 回 (H22、H29、R3)
- ・固有必要的共同訴訟と通常共同訴訟の区別 3 回 (H23、H28、R2)
- ・補助参加の利益 3 回 (プレ、H28、H30)
- ・当事者の確定 2 回 (H22、R4)
- ・将来給付の訴えの適法性 2 回 (H21、R2)
- ・時機に後れた攻撃防御方法の却下 2 回 (H19、R3)
- ・代理人による契約締結の事実と弁論主義 2 回 (H24、H29)
- ・処分証書の証拠力 2 回 (H19、H24)
- ・期待可能性による調整 2 回 (H18 [反射効]、H21 [既判力に準ずる効力])
- ・既判力に準ずる効力 2 回 (H21、H29)
- ・通常共同訴訟人間の証拠共通 2 回 (H18、R2)
- ・訴訟告知に基づく参加的効力 2 回 (H24、H28)

刑 法

(分野)

- 1 位 共同正犯 14回
プレ、H18、H19、H20、H21、H23、H24、H25、H27、H28、H29、R1、R2、R3
- 2 位 窃盗罪 9回
プレ、H20、H27、H28、H29、R1、R2、R3、R4
- 3 位 横領罪（単純横領罪・業務上横領罪） 8回
プレ、H19、H21、H24、H27、H29、R2、R4
- 4 位 殺人罪 7回
プレ、H22 [不作為]、H23、H25、H26 [不作為]、H30 [不作為]、R2 [強殺]
- 4 位 傷害罪・傷害致死罪 7回
プレ、H18、H23、H25、H27、H29、R4
- 6 位 強盗罪 6回（プレ、H20、H27、H28、R2、R3）
- 7 位 正当防衛 5回（H18、H23、H29、R1、R4）
- 8 位 住居侵入罪・建造物侵入罪 4回（H20、H26、H27、H28）
- 8 位 詐欺罪 4回（H19、H29、R1、R2）

(論点)

- ・共謀共同正犯 7回（プレ、H20、H24、H25、H27、H28、R3）
- ・因果関係 6回（プレ、H20、H22、H25、H26、R2）
- ・共同正犯者間の抽象的事実の錯誤 5回（プレ、H20、H27、H29、R3）
- ・侵害の「急迫」性 4回（H18、H23、H29、R4）
- ・現場共謀の認定 4回（プレ、H18、H23、H29）
- ・不法領得の意思 4回（プレ、H27、H29、R4）
- ・不真正不作為犯の実行行為性 3回（H22、H26、H30）
- ・誤想防衛 3回（H27、R1、R4）
- ・結果的加重犯の共同正犯 3回（プレ、H28、H29）
- ・承継的共同正犯 3回（H18、H28、R1）
- ・共同正犯関係からの離脱 3回（H19、H28、R3）
- ・同時傷害の特例 3回（H18、H20、R3）
- ・窃盗罪における占有の帰属先 3回（プレ [上下関係]、H27、R3 [上下関係]）
- ・間接正犯 2回（H21、H25）
- ・間接正犯の認識で教唆を実現した場合 2回（H21、H25）
- ・方法の錯誤 2回（H30、R1）
- ・攻撃の意思と防衛の意思 2回（H18、H23）

- ・共同正犯における防衛行為の相当性の判断方法 (H23、H29)
- ・早すぎた構成要件の実現 2回 (H25、R2)
- ・未遂犯と不能犯 2回 (H30、R1)
- ・片面的共同正犯 2回 (H25、H26)
- ・片面的幫助 2回 (H25、H26)
- ・権利行使と恐喝 2回 (H19、R2)

刑事訴訟法

(分野)

1 位 伝聞法則 1 2 回

プレ、H18、H20、H21、H22、H23、H25、H27、H28、H29 [弾劾]、H30、R3

2 位 強制処分該当性&任意処分の限界 8 回

H19、H22、H26、H27、H28、H30、R2、R4

3 位 逮捕 6 回

プレ [現・準]、H18 [現]、H23 [別件・現]、H24 [現]、H25 [準]、R1 [別件]

4 位 搜索・差押え 5 回

H18、H24、H25、H29、R3

5 位 訴因変更 4 回

H24、H26、R1、R4

(論点)

- ・絶対的特信情況 8 回 (プレ、H20、H21、H22、H23、H27、H30、R3)
- ・被疑事件との関連性の認定 4 回 (H18、H21、H24、R3)
- ・現行犯逮捕・準現行犯逮捕 3 回 (プレ、H23、H25)
- ・逮捕に伴う無令状搜索・差押え 3 回 (H18、H24、H25)
- ・「必要な処分」の限界 3 回 (H20、H22、H29)
- ・訴因変更の要否 3 回 (H24、H26、R3 [訴因と認定事実の齟齬の有無])
- ・犯行計画メモ 3 回 (H18、H27、R3)
- ・違法収集証拠排除法則 3 回 (H18、H22、R2)
- ・ビデオカメラによる撮影・録画 2 回 (H19、H30)
- ・おとり捜査 2 回 (H22、R4)
- ・会話録音 2 回 (H22 [一方の同意あり]、H27 [双方の同意なし])
- ・別件逮捕・勾留 2 回 (H23、R1)
- ・任意同行後の取調べ 2 回 (H26、R2)
- ・場所に対する搜索差押許可状に基づく搜索場所内の物の搜索 2 回 (H24、H29)
- ・令状の事前呈示の原則と例外 2 回 (H20、H29)
- ・訴因変更の可否 2 回 (H26、R1)
- ・同種前科証拠・類似事実証拠による犯人性立証 2 回 (H19 [前科]、R2 [類似事実])
- ・自白の任意性 2 回 (H27、R2)

労働法

労働保護法（個別的労働関係）

（分野）

- 1 位 懲戒権濫用 7 回（H19、H21、H24、H27、H30、R1、R3）
- 2 位 就業規則の不利益変更 4 回（H20、H23、H29、R4）
- 2 位 普通解雇 4 回（H21、H23、H28、R1）
- 2 位 有期労働契約者の雇止め 4 回（H21、H25、H27、R4）
- 5 位 配転命令 3 回（H21、H26、R4）

（論点）

- ・整理解雇法理 4 回（H21 [雇止め] H22 [解雇]、H27 [中途解約]、R3 [解雇]）
- ・労働者による賃金債権の放棄 4 回（H18、H20、H25、R2）
- ・解雇予告義務違反の解雇の効力 3 回（H23、H29、R1）
- ・就業規則変更合意 2 回（H20、H29）
- ・割増賃金を基本給に含めて支払う旨の個別合意の有効性 2 回（H20、R2）
- ・懲戒権の法的根拠 2 回（H19、R3）
- ・有期労働契約者の期間途中の解雇 2 回（H23、H27）

労働組合法（集団的労働関係）

（分野）労働保護法

- 1 位 支配介入の不当労働行為 9 回
H18、H20、H22、H24 [サブ]、H28、H30 [サブ]、R1、R2 [サブ]、R3 [サブ]
- 2 位 団体交渉拒否の不当労働行為 6 回（H18、H22、H24、H28、H29、R2）
- 2 位 不利益取扱いの不当労働行為 6 回（H21、H24、H27、H29、H30、R3）
- 4 位 組合活動の正当性 5 回（H20、H24、H27、H30、R3）
- 4 位 労働協約 5 回（H19、H23、H27、H30、R4）
- 6 位 ユニオン・ショップ協定 2 回（H19、H29）
- 6 位 チェック・オフ 2 回（H22、R1）
- 6 位 争議行為の正当性 2 回（H21、R3）

（論点）

- ・労働協約による労働条件の不利益変更 4 回（H19、H27、H30、R4）
- ・労働協約締結権限の瑕疵 3 回（H19、H27、H30）
- ・労働組合による統制処分の有効性 2 回（H25、H30）
- ・労働協約の一般的拘束力 2 回（H19、H23）
- ・非組合員の労働条件の義務的団交事項該当性 2 回（H28 [団交拒否]、R3 [争議行為]）
- ・少数派組合員の活動 2 回（H20、H27、H30、R3）
- ・勤務時間中の組合活動 2 回（H20、H27）
- ・企業施設利用の組合活動 2 回（H20、H24）
- ・争議行為中の賃金カット 2 回（H21、H28）
- ・下級職制による脱退勧奨と支配介入 2 回（H18、H24）